

## 第8回 加東市議会報告会議事録（要約）

平成27年10月31日  
とどろき荘多目的ホール

開会 19:00

◎開会挨拶 班長（井上議員）

### 第1部 「平成26年度決算審議内容と公共施設適正配置計画について」

【意見】 議会報告会でありながら資料がないので解りにくい。

【問】 決算と予算の対比はどうなっているのか。8億の基金を残すために事業を展開してきたのか。それとも、予算の執行にあたって全額を使い切ろうとしたが、たまたま残ったのか。予算額に補正をしたのはどうなっているか。

【答】 予算の執行については、市民サービスは落とすことなく事業を展開し、補正については、緊急に要する事業に対し補正をしている。

【問】 学校統合でコスミックの所ではなくライスセンターの意見はなかったのか。

【答】 ライスセンターのあたりは山田錦特A地区で優良農地を守っていくのも行政の役目である、と聞いている。

【意見】 小中一貫校について、市長は安全安心を訴えておられる。コスミック周辺は危険な場所であるので、将来の子供のことをよく考えてほしい。市長にはデメリットが見当たらないと答えられた記事があった。議員さんには将来の加東市を良く見据えた中でどうしたら、街が良くなっていくか考えていってほしい。

【問】 ケーブルテレビを民間に委託し事業を縮小するとあるが、具体的に説明をしてほしい。

【答】 今のシステムが老朽化しているので高額な費用が掛かるので、eo光（ケイオプティコム）に民間委託し、1チャンネルで市の専用チャンネルとして放送する。

【意見】 観光産業振興施設について大幅な収支改善が見とめられない場合は廃止する。とあるが行政としては感心しない表現である。元気の出る表現にし

てほしい。

【問】行政の投資効果とは損益計算書で考えるべきでなく、貸借対照表で考えるべきだ。支出は政策で、収入より支出が少ない方が立派だと考えているのは間違いだ。役所は出ていく金を効率的に使うものである。

【答】当然、我々は支出は政策であると理解している。

合併後、特例債として10年間は事業の95パーセントの7割は国が見てくれる事となっており、その間は交付税も減らさない事になっているが、その後は地方交付税は5年後には約13億円減らされることになっているので、その為に、基金を積み上げている。

【意見】鯉こいランドの施設が道の駅とうじょうの駐車場の中に出来るのは、交通量が多く危険な場所で不適切と思うがなぜか。他も検討してほしい。

【問】学校統合について反対の多い東条地域から何故するのか解らない。

小中学校の現役の教師にもアンケートをとっているがかなりの教師が納得していない。年配の教師、特にOBの方が反対している。どう考えているか。

【答】4月には市長も出来れば東条からと明言されたが、借地問題等があり順番にはこだわっていない。状況によれば社地域からとの認識をしている。

合併特例債の使える間に実施していきたいとの意向である。

【意見】地域協議会の13名だけの話し合いでは意味がない。なぜ、最初の意見をとってもらえないのか。東条地域のまとめは公表していない、社・滝野地域は公表された事に不信感を持っている。

## 第2部 意見交換

### テーマー「加東市のまちづくりと地域の課題について」

【要望】南山地域は平成19年に1種住宅から2種住宅に格下げされ、それ以後、住宅・アパートが随分建ってきた、現在の平均年齢は31.06歳で南山1220人から1230人で小学校の予定地にはソーラーのパネルが並んでいる。準工業地域がソーラー地域になっている。工場誘致が進まず雇用の無い太陽光で、加東市のまちづくりを疑う。議会でも議論をしてほしい。

【問】合併特例債を運用することが、市として本当にメリットになるのか。

【答】一貫校にすることで国は50パーセントの補助があることになっているが、70パーセントという合併特例債の方が有利である。計画については来年

3月末には出てくると思うので特別委員会も待っている状況である。

【意見】アンケートの(老害)の表記があった、問題視すべきだ。

【意見】巡回バスについて、テスト巡回は出来ないのかなと思う。

【意見】校区の見直し等、柔軟な考えが欲しい。

【問】長貞と掬鹿谷の橋と厚利の橋の進捗状況は。その時期は。

【答】時期としては地権者の協力次第となり、明確な時期は答えられない。厚利の橋は前向きに進んでいる。掬鹿谷も進捗に向いているはずである。

【問】小中一貫校で地域推進協議会が立ち上がり、視察に行くらしいが今までにも行ったことのある学校で、加東市に似通ったところはないのかと教育委員会に聞くと、似たような学校は統合したところはないと云われた、それで何故加東市はしなければいけないのか議員はどう思うか。

【答】地域推進協議会の委員は地域の方で組織されているので、他にあればその委員に提案されればよいのでは。府中市は似通った学校で視察に行ってきたが順調に成果として出ていた。国の方では一貫校を取り組んだ学校でアンケート結果では87パーセントが成果があったと答えている。

【問】適正配置の件だが東条地域の14の施設のうちの10施設を潰すのはなぜか。

【答】適正配置では旧町のバランスではなく加東市全体としてのバランスとして取り組んでいる。それと公共施設は基本的に老朽化と公共用地に建設されるのが基本だと思いますが、借地が多いことも理由に上がるのかなと思って

【問】病院の経営状態はどうか。96.1パーセントの人件費は余りにも多すぎるのではないか。

【答】大変厳しい状況である。加東市民病院は方向性を訪問看護、在宅看護の方向に転換しているところで、勿論、地域医療としては少し残しつつ方向性を変えているところです。医師不足で入院外来の収入が少なく、医業収益で入る分と、人件費との比率を人件費比率として表示している。

閉会 21:00

◎閉会挨拶 司会者（二階議員）